

平成13年春の叙勲受章者

平成13年春の叙勲の受章者が4月29日発表され、産業技術総合研究所(旧工業技術院関係)から8名の方々が晴れの榮譽に輝きました。

勲三等旭日中綬章

吉留 浩 (元工業技術院化学技術研究所長)

勲三等瑞宝章

高橋 教司 (元工業技術院製品科学研究所長)

竹盛 欣男 (元工業技術院四国工業技術試験所長)

石井 英一 (元工業技術院名古屋工業技術試験所セラミックス基礎部長等)

勲四等旭日小綬章

河合 和二郎 (元工業技術院大阪工業技術試験所有機機能材料部長)

照沼 清 (元工業技術院公害資源研究所資源第一部長)

樋端 保夫 (元工業技術院中国工業技術試験所生産技術部長)

成田 英吉 (元工業技術院地質調査所北海道支所長)

エンゲルバーガー・ロボティクス賞 受賞

2001年エンゲルバーガー・ロボティクス賞(Technology Development)

谷江 和雄(知能システム研究部門長)



第32回国際ロボットシンポジウム(ISR2001)において、谷江和雄知能システム研究部門長が、国際ロボット連盟(IFR)よりエンゲルバーガー・ロボティクス賞を贈られました。同賞は著名な Joseph F. Engelberger 博士の名にちなんで名付けられた世界で最も高名なロボティクス分野の賞の一つで、技術開発、応用、教育、リーダーシップの4部門で顕著な業績を上げた個人に授与されます。審査委員会は、ロボット研究に従事し、ロボット産業の発展に貢献した世界で最も重要な研究者の1人として同氏を以下のように紹介しています。

「産業用ロボットに感覚制御を導入する技術に取り組み、触覚センサや力センサの開発と制御においては世界的に知られる。ロボットの応用に関しては、筋電義手の開発や感覚情報フィードバック、仮想現実感技術を活用した遠隔操作などの研究にいち早く取り組み顕著な業績をあげた。さらに、最近では、人間共存型ロボットの実用化に向けたヒューマノイドロボットに関するプロジェクトの立案に参画するなど国家プロジェクトの立ち上げに活躍した。一方、早稲田大学客員教授、筑波大学教授の併任、日本ロボット学会副会長、IEEE Technical Committee委員長を歴任するなど教育や学会活動にも貢献した。」